

株式会社アムスク
2012年3月期第2四半期決算説明会

於:みずほ証券リサーチ&コンサルティング

2011年11月30日

Contents

1. 2012年3月期第2四半期決算の概要
2. 2012年3月期の業績見通し
3. 今後の施策

1. 2012年3月期第2四半期決算の概要
2. 2012年3月期の業績見通し
3. 今後の施策

12/3期 第2四半期の総括

■市場環境

東日本大震災の影響がいまだ残る中、復旧・復興への努力によって景気はゆるやかながら回復へ向う一方、欧州の金融危機、タイの洪水影響、円高の進行は抑制要因となっている。しかしながら、アプリケーション、顧客毎に進展、状況は異なる。

■収益の改善

売上につきましては、一部の民生ビジネスにおいて、生産調整による受注減等により、当初の計画を下回ったものの、利益面は収益率の高い既存及び新規ビジネスの販売構成比率が高まり、販売管理費の節減等の要因により、当初の計画を上回る。

■トピック

テキサス・インスツルメンツ社製品の販売等に関する事業を平成24年4月1日をもって、パネトロン社(東京エレクトロンデバイス子会社)に売却・譲渡。

12/3期 第2四半期決算(連結)P/L概要

ビジネス構成変化により利益額改善、震災の影響等から民生向け等売上高減少

(連結)

単位:百万円

	10/9期 実績	11/9期 当期実績	11/9期 計画	計画比	前期比
売上高	11,862	9,219	10,200	△981	△2,643
売上総利益	1,195	1,036	1,055	△19	△159
売上総利益率(%)	10.1%	11.2%	10.3%	0.9%	1.1%
営業利益	216	105	60	45	△111
経常利益	203	85	25	60	△118
当期利益	155	62	10	52	△93

※計画値は2011年6月14日付にて開示致しました業績の予想数値です

四半期別業績進捗推移(連結)

トップライン変動あるも、8四半期黒字継続中

(連結)

単位:百万円

	10年度 第1四半期	10年度 第2四半期	10年度 第3四半期	10年度 第4四半期	11年度 第1四半期	11年度 第2四半期
売上高	5,304	6,557	5,578	5,062	4,190	5,029
営業利益	88	128	71	48	53	52
経常利益	81	121	48	41	42	43
当期利益	47	107	41	34	12	50

12/3期 第2四半期(連結) 分野別売上概要

産業機器向け工業用センサー市場好調維持

売上高合計92億円 %は構成比率、(%)は前年同期

【産業機器】

医療機器、計測機器
半導体テスター、製造装置
その他産業機器

【民生】

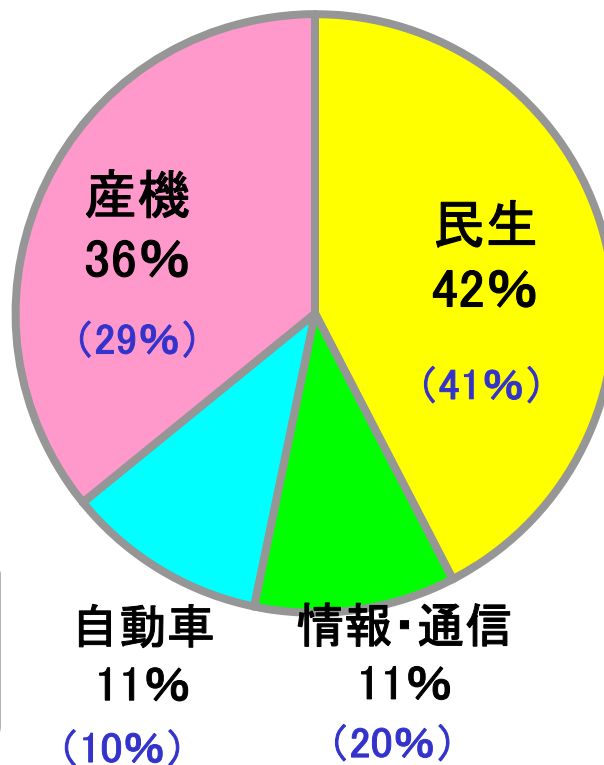
液晶TV
DVDプレーヤー、レコーダー
デジタル・スチル・カメラ
ゲームコントローラー等

【自動車】

エンジンコントロールユニット
エアバック、ABS、ボディ
カーオーディオ・カーナビ

【情報・通信】

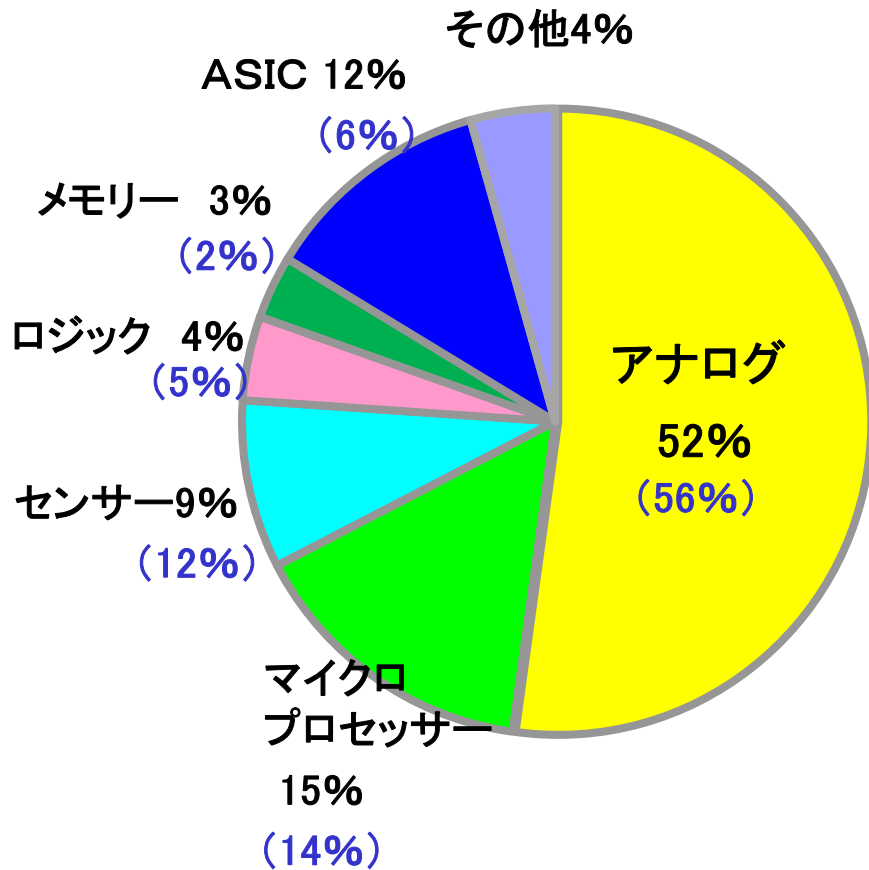
デジタルTVチューナー
パーソナル・コンピュータ
携帯電話等



12/3期 第2四半期(連結) 品目別売上構成

家庭用ゲームコントローラ向けASICが伸びる

売上高合計92億円 %は構成比率、(%)は前年同期



分類	特徴	小分類	主な用途
アナログ	デジタルに対し、連続した信号を扱うIC	オペアンプ コンバーター チューナー 電源 レギュレーター等	電源装置 通信機器 計測機器 AV機器 制御機器
マイクロプロセッサ	コンピュータの頭脳部分で、機器の中に組み込んだ形で使用されるIC	8bit 16bit 32bit	通信機器 アミューズメント機器 自動車機器
センサー	計測の対象となる物理量を検知し、電気信号に変換する素子	ジャイロセンサー 加速度センサー 温度センサー等	アミューズメント機器 通信機器 自動車機器
ロジック	汎用論理素子、デジタル回路を構成する標準IC		計測機器 コンピュータ OA機器
メモリー	記録素子IC	DRAM,FLASH EEROM	コンピュータ
ASIC	特定用途向けカスタムIC		

12/3期 第2四半期決算(連結)B/S概要

顧客の生産調整からたな卸資産が一時的に増加

単位:百万円

	11/3期	11/9期	前期末比		11/3期	11/9期	前期末比
流動資産	8,051	8,193	142	流動負債	4,117	4,259	142
現金及び預金	975	929	△46	買掛金	1,234	1,203	△31
受取手形及び売掛金	4,019	3,973	△46	借入金	2,690	2,855	165
たな卸資産	2,768	3,002	234	その他	192	199	7
その他	287	288	1	固定負債	242	206	△36
固定資産	454	409	△45	(内 長期借入金)	(210)	(180)	(△30)
有形固定資産	21	19	△2	負債合計	4,359	4,465	106
無形固定資産	44	31	△13	株主資本	4,268	4,316	48
投資不動産	195	195	0	その他の包括利益累計	△122	△179	△57
その他	192	163	△29	純資産合計	4,145	4,137	△8
資産合計	8,505	8,602	97	負債純資産合計	8,505	8,602	97

12/3期第2四半期 決算(連結)キャッシュフロー概要

一時的なたな卸資産の増加から営業C/Fはマイナスに

単位:百万円

	10/9期	11/9期
I 営業活動によるキャッシュフロー		
税金等調整前当期純利益	195	80
減価償却費	49	18
売上債権の増減額(増加:△)	△1,532	△82
たな卸資産の増減額(増加:△)	△463	△318
仕入債務の増減額(減少:△)	738	75
その他	△81	△43
小計	△1,094	△270
II 投資活動によるキャッシュフロー		
有形固定資産の取得による支出	△7	0
無形固定資産の取得による支出	△8	0
投資有価証券の売却による収入	0	22
その他	△2	△3
小計	△17	19

	10/9期	11/9期
III 財務活動によるキャッシュフロー		
借入金の純増減額(純減少額:△)	1,249	243
配当金の支払額	△5	△14
その他	△20	△1
小計	1,224	228
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△26	△23
V 現金及び現金同等物の増減額	86	△45
VI 現金及び現金同等物の期首残高	751	975
VII 現金及び現金同等物の期末残高	837	929

1. 2012年3月期第2四半期決算の概要
2. 2012年3月期の業績見通し
3. 今後の施策

12/3期(連結)業績予想

民生ビジネスの調整局面により、販売は減少を見込むが、収益は期初計画を確保

単位:百万円

	11/3期 実績	12/3期 計画	12/3期 前回計画	前期比
売上高	22,502	19,200	21,000	△3,302
売上総利益	2,280	2,220	2,220	△60
売上総利益率	10.1%	11.6%	10.6%	1.5%
営業利益	337	220	220	△117
経常利益	293	145	145	△148
当期利益	230	120	120	△110

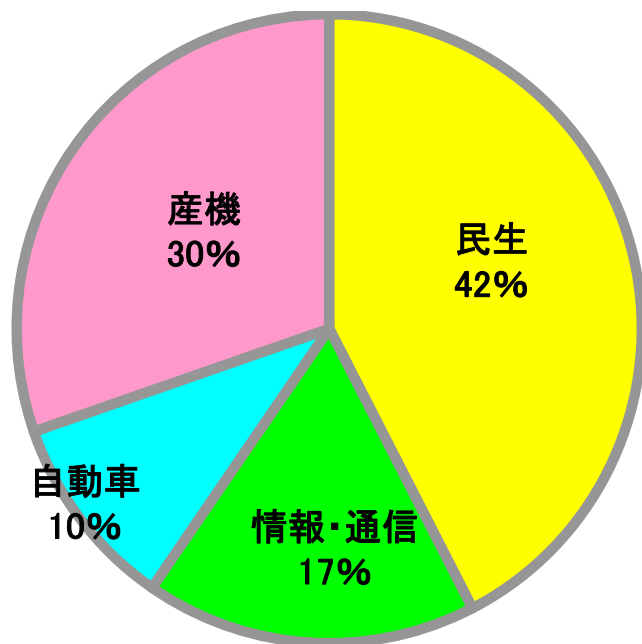
※12/3期計画は2011年11月4日付にて開示致しました業績予想数値です

※前回計画は2011年6月14日付にて開示致しました業績予想数値です。

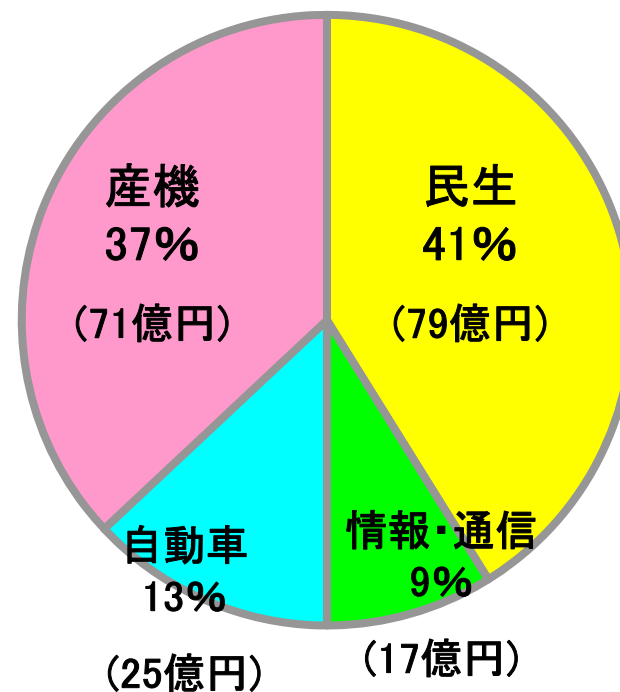
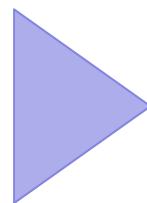
※前期比は11/3期実績と12/3期計画との比較です。

12/3期（連結）分野別売上見込

工業用センサー市場及び LED照明市場好調



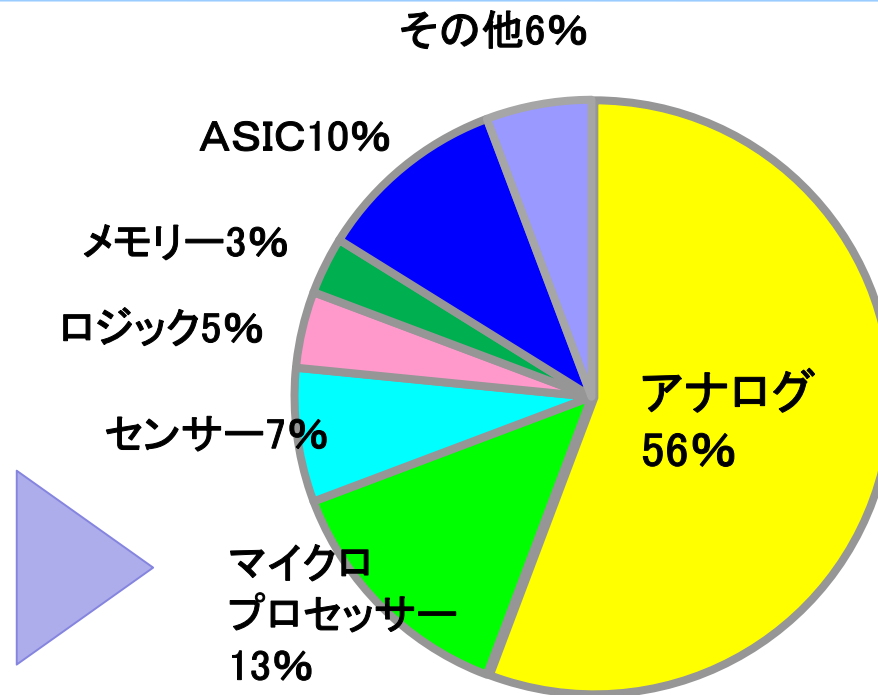
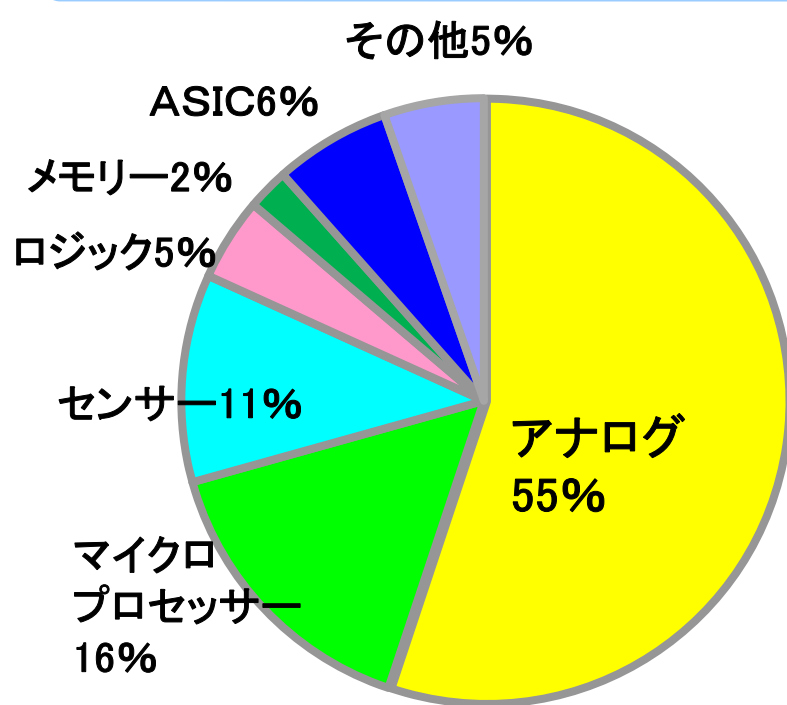
10年度売上高合計 (225億円)



11年度売上高合計 (192億円)

12/3月期（連結）品目別売上見込

上期の家庭用ゲーム機器伸張により、ASIC比率増



12/3期の予想(連結)B/S概要

たな卸資産の適正化により自己資本比率は50%超を維持

単位:百万円

	11/3期 (実績)	12/3期 (計画)	前期比		11/3期 (実績)	12/3期 (計画)	前期比
流動資産	8,051	8,351	300	流動負債	4,117	3,927	△190
現金及び預金	975	1,013	38	買掛金	1,234	1,212	△22
受取手形及び売掛金	4,019	4,163	144	借入金	2,690	2,400	△290
たな卸資産	2,768	2,443	△325	その他	192	315	123
その他	287	288	1	固定負債	242	236	△6
固定資産	454	414	△40	(内 長期借入金)	210	150	△60
有形固定資産	21	21	0	負債合計	4,359	4,163	△196
無形固定資産	44	15	△29	株主資本	4,268	4,388	120
投資不動産	195	195	0	その他の包括利益累計	△122	△230	△108
その他	192	183	△9	純資産合計	4,145	4,602	457
資産合計	8,505	8,321	△184	負債純資産合計	8,505	8,321	△184

たな卸資産の推移

在庫管理強化により期末保有月数は1.5ヶ月(月商倍率)へ圧縮

単位:百万円

	2010/9期	2011/3期	2011/9期	2012/3期
	実績	実績	実績	計画
売上高	11,862	22,502	9,219	19,200
たな卸資産	2,977	2,768	3,002	2,443
在庫保有月商倍率	1.5ヶ月	1.5ヶ月	2.0ヶ月	1.5ヶ月

在庫保有月商倍率 = たな卸資産 ÷ 平均月商

欧州金融危機、タイ洪水影響等から、需要の乱高下が予想されるなか

- ・ 顧客所要情報の更新頻度を高め、発注量の最適化を図る
- ・ 発注枠管理による在庫想定と、所要変動による在庫バランスの管理徹底

運転資金の推移(連結)

在庫圧縮に注力し、運転資金回転月数の改善を目指す

(連結)

単位:百万円

	10/9期		11/3期		11/9期		12/3期 予	
	残高	回転月数	残高	回転月数	残高	回転月数	残高	回転月数
売上債権(1)	4,960	2.5ヶ月	4,020	2.1ヶ月	3,973	2.6ヶ月	4,163	2.6ヶ月
たな卸資産(2)	2,977	1.5ヶ月	2,768	1.5ヶ月	3,002	2.0ヶ月	2,443	1.5ヶ月
仕入債務(3)	1,754	0.9ヶ月	1,234	0.7ヶ月	1,204	0.8ヶ月	1,212	0.8ヶ月
運転資金(1+2-3)	6,183	3.1ヶ月	5,554	3.0ヶ月	5,771	3.8ヶ月	5,394	3.4ヶ月

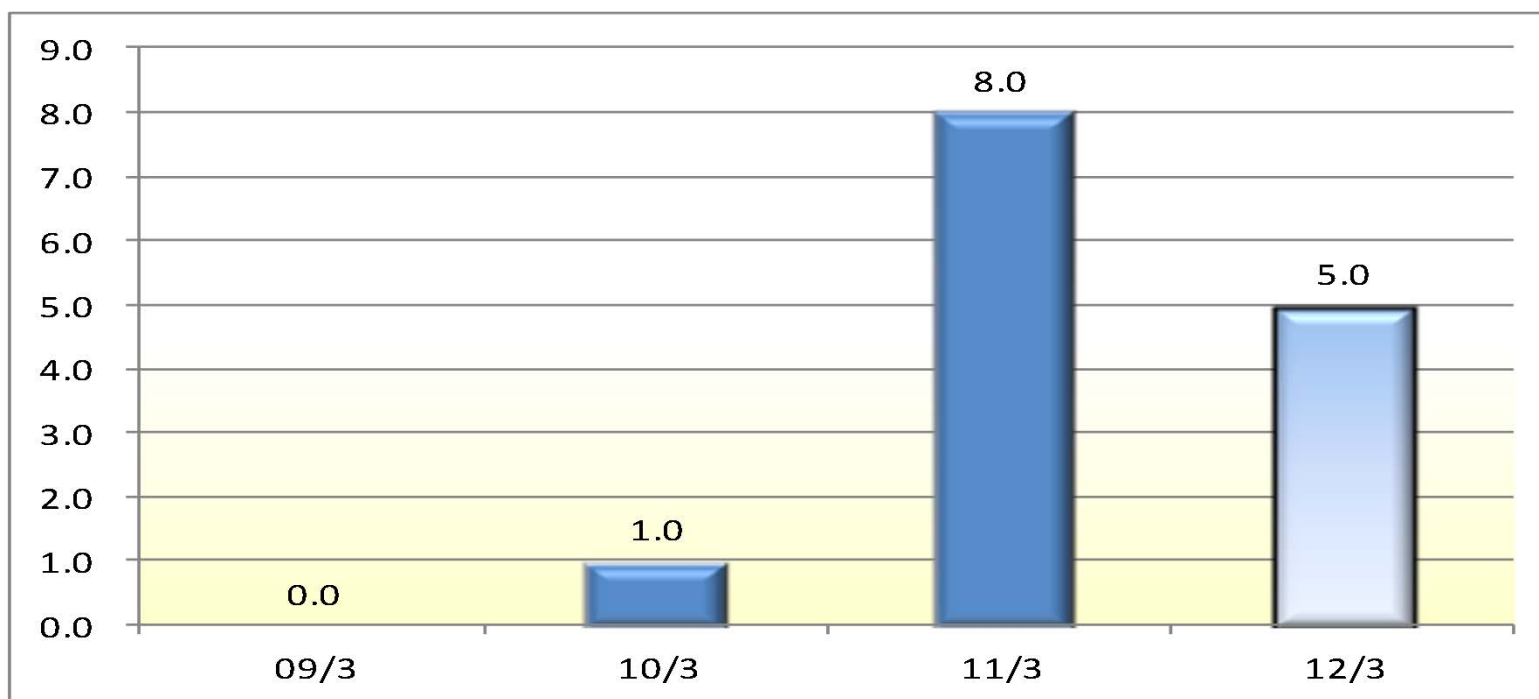
※回転月数＝残高÷平均月商

11/9期は、顧客の仕入調整から一時的なたな卸資産の増加となりましたが、期末に向けて受発注に見合った在庫コントロールを推進、キャッシュフローの改善を図ります。

配当予想 今期は期末5円を実施予定

業績に応じた株主配当の継続

単位:円



1. 2012年3月期第2四半期決算の概要
2. 2012年3月期の業績見通し
3. 今後の施策

ファイナンスシュミレーション

想定資金運用表(平成24年4月1日～6月30日)

単位:百万円

資金運用表(譲渡取引)	調達	運用	残高
譲渡対価受領	514		
対象事業売掛金回収	1,400		
対象事業在庫移管	800		
対象事業買掛金支払		▲100	
事業再構築費用等		▲96	
合計	2,714	▲196	2,518

ファイナンス・投資戦略

事業譲渡により、期末借入金見込額と同等額のキャッシュインが見込まれます。

資金運用の方向性

- ・有利子負債の圧縮
- ・手元資金流動性の増強
(既存・新規ビジネス・商材拡充に向けた投資)
- ・事業買収、M&A

アムスク事業計画

■基本戦略

事業構造の変革を推進、「選択と集中」による収益体質の強化を図る

- ①キャッシュフロー重視の経営を推進し、収益力の改善・強化を図る。
- ②STマイクロ、オンセミコンダクターに経営資源を集中し、事業基盤を維持拡大する。
- ③アナログ系IC商材販売・技術力の活用。(アナログ系サプライヤーの導入)
- ④お客様の購買代行機能として、代理店契約に捉われない仕入れチャネルを確立する。

■既存商材戦略

- 1.ST
 - ・幅広い製品群とアプリケーション力をベースにMCUのみならず電源及び周辺機器まで包含したソリューション提供の加速
 - ・地方戦略、地方の顧客Coverage(東北・西日本エリア)強化を図る
- 2.ON
 - ・商流獲得、体制拡充を実施、車載・産業機器顧客を中心にビジネス伸長
 - ・関東・関西地区顧客商流獲得、強化
 - ・汎用Logic/Analog製品の拡販強化を図る
- 3.その他
 - ・特定小電力RF及びPower Management IC (PMIC)の市場開拓を図る

1.DIALOG 会社概要



- 本社所在地:ドイツ本社ファブレス半導体メーカー(無借金経営)
- パーソナル・ショートレンジワイアレス(DECT)を中心とした音声画像、宅内セキュリティーに特化した製品ラインアップを持ち、特にDECTに注力して国内拡販
高度に集積されたミクストシグナル半導体、特にpower management integrated circuits (ICs) 分野におけるリーディングカンパニー
- アジアのファウンダリと強固な関係を持つファブレスビジネスモデル
- 高成長市場に注力
 - ハイエンド端末 (携帯端末 / スマートフォン)
 - ポータブル・メディア・プレーヤー
 - 低電力照明
 - オートモーティブ用モーターコントロールやインフォテインメント

■取扱商材の拡充

2.PTC社  Princeton Technology Corp.

会社概要

- 創立: 1986年5月
- 資本金: 5,600万USD (約50億円)
- 本社所在地: 台湾(台北県新店市)
- 従業員数: 476名(2010年7月)
- オーディオ、AMP、モーター/ディスプレイ/モータ各ドライバー、リモコン、エンコーダー、デコーダーのライアップを有し、全社売上の40%は日本市場であり知名度が高い汎用IC専門メーカー

3.u-blox社

会社概要

- 1997年設立
- 本社所在地: スイス
- 2007年上場(スイス証券取引所)
- 取扱商品
 - 世界最速GPS ICチップ/ GPS/Galileo Readyモジュール、通信モジュール、
カスタム設計サービス
- ターゲット市場
 - 位置測定(双方向)を中心とした工業計測、民生、車載

4.VTI TECHNOLOGIES社



会社概要

- 本社所在地：フィンランド 本社
- 3D MEMS(Micro Electro Mechanical System)センサーの専門メーカー
- 全社の70%は車載向けであり、自動車用低加速センサ、医療用(CRM)加速センサ分野では世界のトップランナーで、その信頼性は高く、今後は民生、産業分野での拡大が見込まれる。

5. Kingbright社

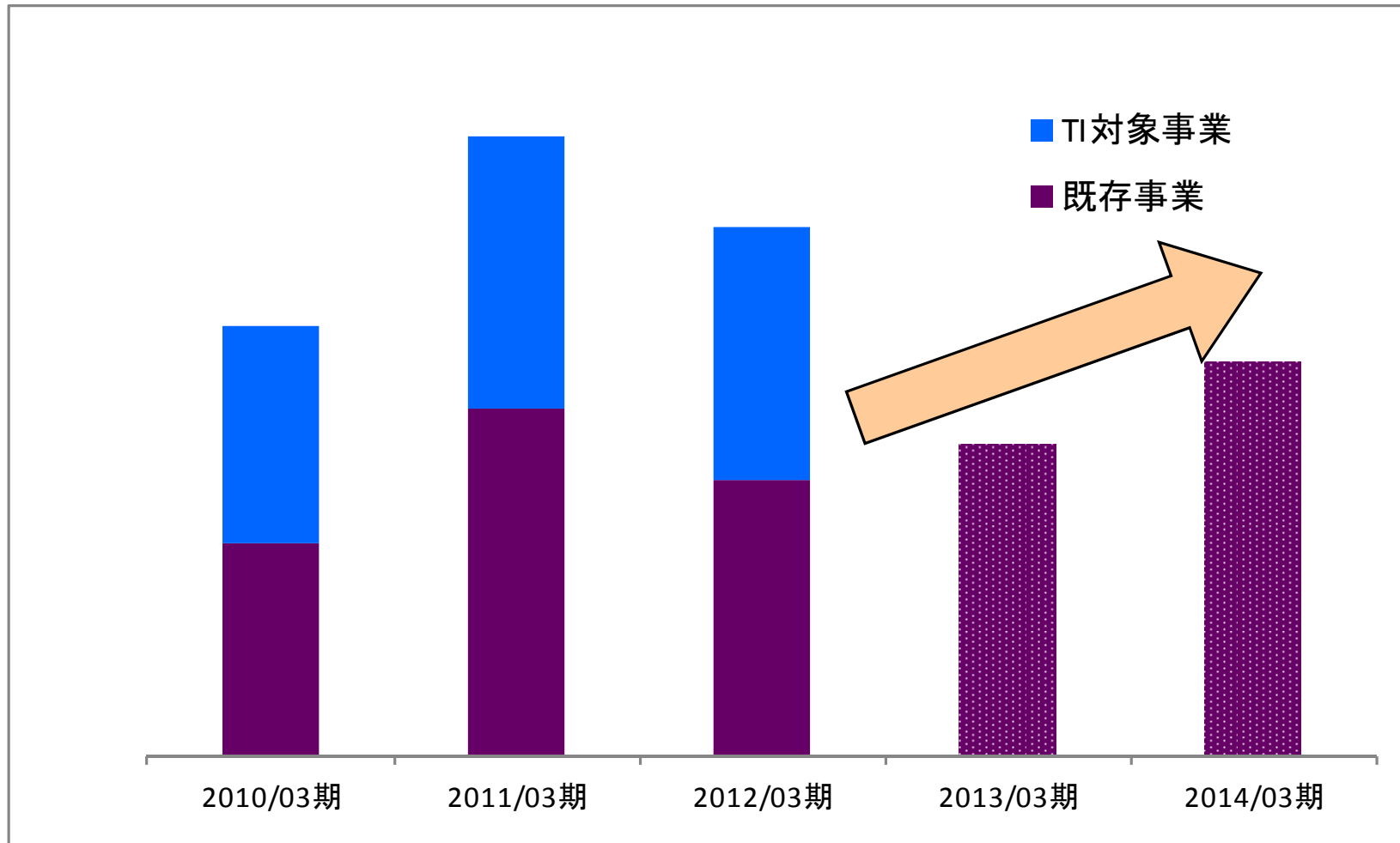


会社概要

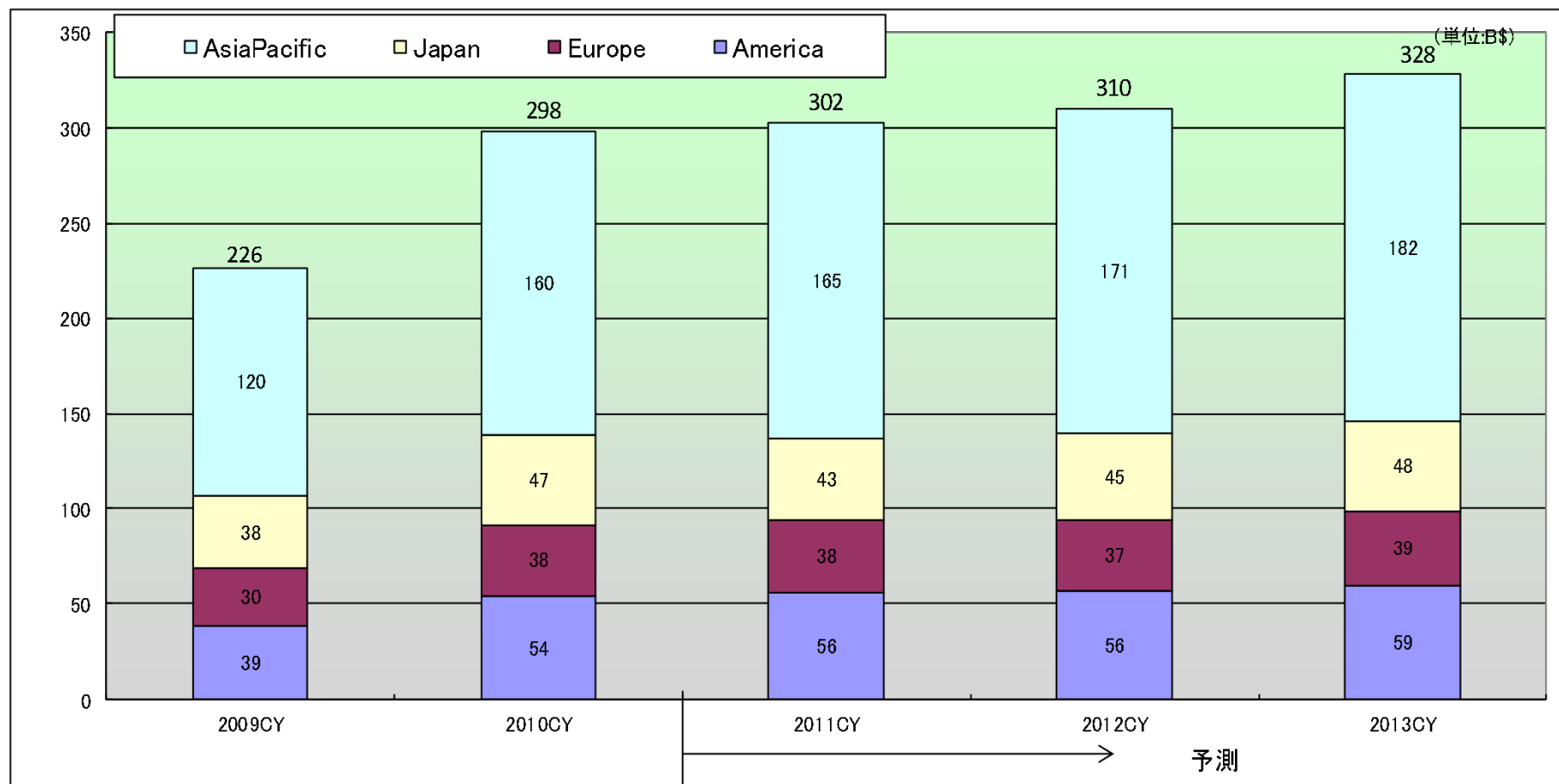
- 本社所在地：台湾
- LED専門メーカー。
- ソリッド・ステート・ライティング用のLEDメーカーとして堅実に成長し無借金経営を堅持。

バックライト・セグメント表示を中心とし、今後のエコ市場の拡大に向けてデザインを強化し業績向上を目指す。

売上動向



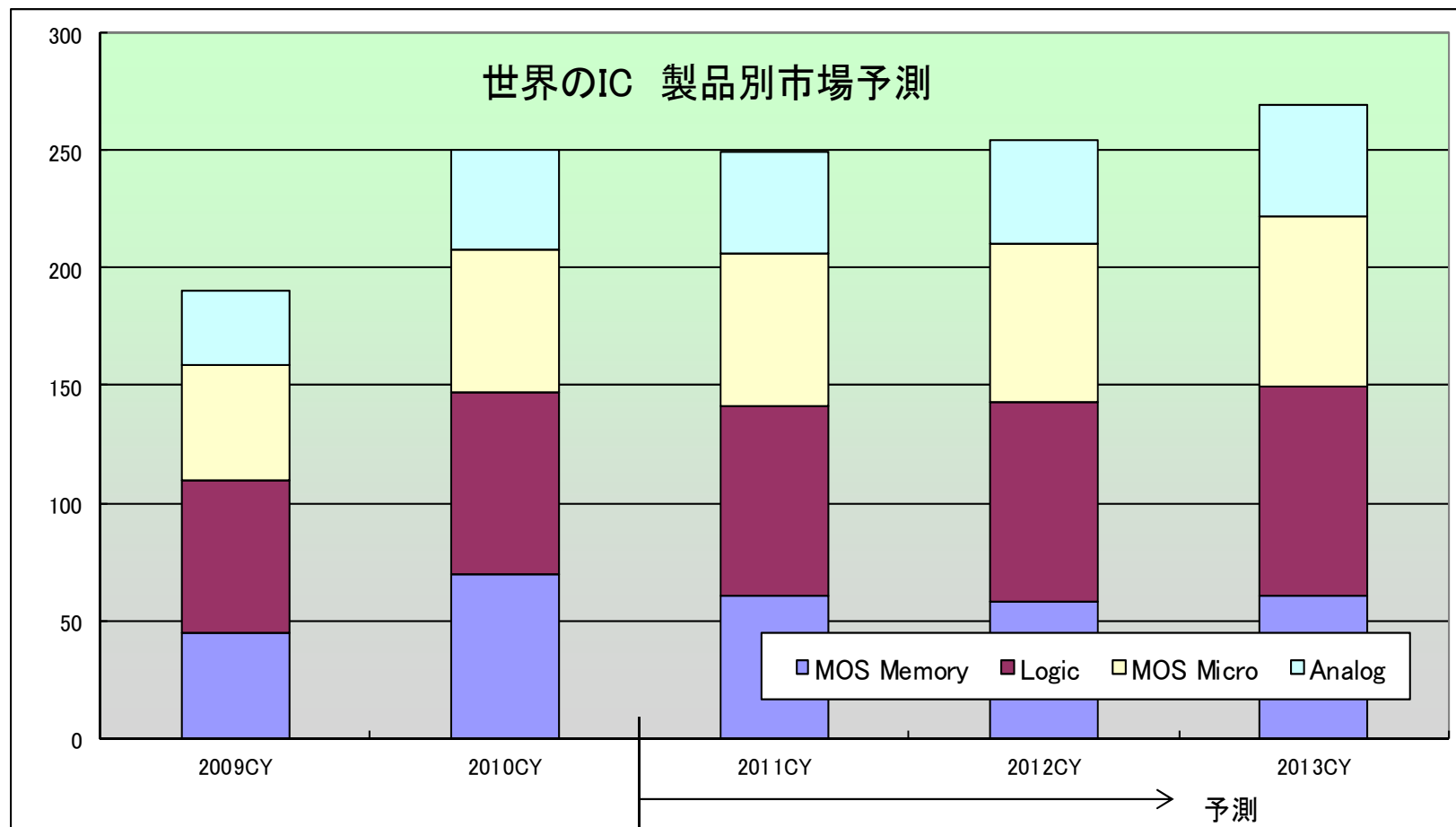
参考資料 世界の半導体市場動向 (WSTS資料)



出所: WSTS(世界半導体市場統計)2011年11月29日発表

参考資料 製品別市場動向(世界市場 WSTS資料)

(単位: B\$)



出所: WSTS(世界半導体市場統計)2011年11月29日発表



本日はありがとうございました。

今後ともご支援宜しくお願いいたします。

本資料には、業績見通し及び事業計画等も記載しております。

それらにつきましては、作成時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しております。

従って、実際の業績は、様々な要素によりこれらの業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おきください。

資料に関する問い合わせ先
株式会社アムスク
IR担当: 森/奥原
TEL: 0422-54-6186
mail: ir@amsc.co.jp